

コミュニケーション能力

最最近の若者はゲームや SNS ばかりしていてバーチャルの世界しか知らないから、コミュニケーション能力が低い。日本人は中学校から英語を学習しているのに、海外で話すことが出来ず、コミュニケーションスキルがない。最近の新入社員は飲み会にも参加せず、コミュニケーションが取り辛い。コミュニケーション能力を高める〇〇の方法。コミュニケーション能力が高い人、低い人の会話の特徴・・・・等々。コミュニケーション能力に関する話題は多種多様で、関心は極めて高い今日この頃。(と言うより、永遠のテーマですね。古代エジプトでも最近の若い衆はみたいな批評がされていたようです。)

とは言え、コミュニケーション能力とはいったい何を指すのか？本当に若者はコミュニケーション能力が低いのか？英語が話せないとコミュニケーション能力がないのと言えるのか？会話が上手な人がコミュニケーション能力が高いのか・・・・？？？？？

と言うことで、まずコミュニケーションとは何かを考えていく中で、私の思う真のコミュニケーション能力について少し記したいと思います。あくまで個人的な意見ですので、一つの参考として捉えてください。

ではまず、コミュニケーションとは、4つの技能があると定義します。順不同で『読む』『聞く』『書く』『話す』。多くの方がコミュニケーション能力が云々言っているのは、主に『話す』がメインで一部『聞く』も含まれているように感じます。つまり、極端な言い方をすれば、話す量が少ないというだけで、コミュニケーション能力が低いと言っているように思います。毎日新聞を読んでいる人は世の中の情報にコミュニケート（繋がる）していますし、Eメールや最近ではSNSで文章を書いている人も同様にきちんと相手とコミュニケートしていると言えると思います。聞き上手な人は実は友達が多く、立派にコミュニケーションをとっていると言えると思います。手紙を書いて、それを読む人がいる。これも双方、立派なコミュニケーションだと思います。しかし、何故か「最近の若者は」に代表されるような、コミュニケーションが取れないあるいは少ないと嘆く人たちが捉えている感覚は、話すだけに偏っているように思います。ちなみに、この4つのコミュニケーションスキル（技能）の中で、最も難しいのは『書く』だと私は思います。次いで『読む』、次いで『聞く』、次いで『話す』。勝手な私見ですが、話すは赤ちゃんが初めに行うコミュニケーションであり、言うなれば初級だと思います。初めは、耳や目はまだ上手に使えず「おぎゃ〜おぎゃ〜」としゃべり（泣き）、次に耳を使い『聞く』を繰り返しながら、「ママ、マンマ」と繰り返す、ず〜〜と後で「パパ、バ〜カ」と言うようになる（何度も繰り返す）

しますが、あくまで私見です！！！)。

『読む』になると一気にハードルが高くなり、『書く』は大人になっても中々難しいですね。読むについては、子どものころに絵本の読み聞かせを通じて、音で覚えるから、少しずつ文字を見るようになり、文字と音が一致してくる。それと同時に、幾何学模様を描いていた子どもが、文字を大人から教わり少しずつ書くを始める。そして、その2つの技能を習得していく過程でも聞く・話すを磨かれていく。書くが最も難しい技能と言った理由は、小学校の夏休みくらいから皆さんもやるようになった、読書感想文。高校や大学、早いところでは中学校くらいからは論文を書くようになると思います。しゃべるのは得意で、授業中は発表を良くする活発な子でも、読書感想文になるとなかなか意欲的に取り組めないなんてこと、ありそうですよね。実は私がそうでした。地元の同級生は幼いころの活発でやんちゃで、騒がしい当時の私の性格を知っていると思いますが、作文コンクールで賞を取ったことは一度も無く、一方兄は作文のみならず絵画のコンクールでも賞をもらっていました。ただうるさいだけの私と、4技能に優れた2歳年上の兄、どちらがコミュニケーションの能力が高いかは言わずもがなですね。そんな私が、読むや書くといったコミュニケーションスキルを磨くようになったきっかけは、大学時代のラグビー部の先輩の一言でした。その方は、帰国子女で私の4つ上の身長180cm以上ある、今風に言うと所謂イケメン。その

言葉はとても含蓄がありながらも、ただの会話の一部でした。それだけ書いても理解し辛いと思うので、ここでは割愛します。ただ、その先輩は海外での生活、もちろん学校教育も海外、が長かったのでコミュニケーションの4技能が日本の話すに偏っていなかったのかなあ～と思います。

とまあ、私の勝手な私見を書きましたが、今の若者はコミュニケーション能力が低い訳ではないですし、話すだけでその能力を判断することは違うのではないかと一言が言いたかったのです。とにかく、近頃は読むことや書くことが少なくなり、安易なコミュニケーション手段に頼ってしまいがちですが、読書の時間をゆったりとり、さらにもう一段書くという時間を十分にとることで、トータルのコミュニケーション能力が向上すると私は思います。読んで得た知識や感情を、上手に話すことで話すスキルも一層上達しますし、そういった教養のある方の話を聞くことはより良い人生の一助となると思います。私の幼かったころのように（いや、今もたいして変わってないかな？反省！）、訳もなくベラベラとしゃべることは何らかの発散にはなると思いますが、日本人の多くは中学から英語を学んでいるのに英語が話せない批判に対しても、ただ単に挨拶程度の内容やほぼ日本語になっている固有名詞（オレンジ・トマト・テニス・・・など）を連呼するような稚拙な会話しか大人になっても出来ない現状を憂う必要があ

ると思います。英語については『英語学習法』のコラムを現在作成しているので、そちらを参考にしてください。

最後に、イギリスの歴史家トーマス・カーライルの「雄弁は銀・・・」ではないですが、聞くはとっても大事な能力ですし、読むや書くは難易度が高い分さらに大切なコミュニケーション能力だと思います。

つまらない余談を1つとまじめな余談を1つ。人の話をきちんと聞けるとそれは仕事になります。しかもまあまあ稼げます。世の男性は高級クラブをはじめ、何故か高いお酒を飲みに行きます。そこで話していることは、たいがい自分のことで、大方自慢話。その話を上手に聞くことで、普通のお酒に高額な値段が設定される訳です。すごいですよねえ～！そして、まじめな方、今新型コロナウイルスの影響で学校に行かない日が続いていると思いますが、読むことと書く能力が高ければ、与えられたテキストや問題集で自宅にいながらでも学習は出来ます。むしろ、自分のペースで早く習得したり、何度も繰り返し行うことや興味があればどんどん先に進むことが出来ます。学校の一斉学習にはない利点を、この2つのスキルが高いと独学で習得することが出来ます。昔から寺子屋では『読み書き計算』が基本でしたが、今はそんな時期だとコロナ休校で自宅で過ごしているわが子を見ていて思います。

自分自身はもちろん、子どもたちにも話す以外のコミュニケーション能力に目を向け、真の意味での（コミュニケーション）能力を付けていき、生きていくための能力を同時に身につけていけたらと思っています。

2020年4月25日現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、ご連絡等の対応について、通常よりお時間をいただく場合がございます。

S L 2 3 0 4 - 3 2 2 0 - 4 2 8 9

ソニー生命保険(株) 大分支社

〒 870-0029 大分市高砂町 2-50

オアシスひろば 21 9階

TEL 097-532-9200

ライフプランナー 山田新悟